

取扱説明書

Alpha TC/DX

WAQ-TCTDX1



◆ご使用前に、「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意

キャンプに出かける前によく読み、必ず一度組み立てを行ってください。

△記号は警告・注意の内容であることを示します。

警告

誤った取扱をした時に、死亡または重症を負う可能性がある内容を示しています。

使用前に必ず取扱説明書を読み、一度組み立てを行ってください。

キャンプでの使用前に、付属品が全て揃っているか確認し、必ず一度組み立てを行ってください。まれに縫製の不備や付属品の不足などによりコットが建てられない場合がございます。また、テントを収納する場合は、付属品などのパーツの数を確認し、紛失しないようお気をつけください。

キャンプ場やキャンプ場の許可地域以外での使用はしないでください。

キャンプ場以外の場所でのキャンプは、基本的に禁じられています。また、熟知していない土地では、どのような危険が潜んでいるかわかりません。十分に警戒し、危険と判断した場合はすぐに使用を中止してください。

取扱説明書をお読みにになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に保管してください。

お使いになる方がこの説明書に記載の安全上に関する重大な注意事項を守り、製品を安全に正しく使用し危害や損害を未然に防止するため、必ずいつでも見られる場所に保管してください。

テント付近では花火や焚き火を絶対にせず、火気や燃焼器具は生地から十分に離してください。

・TC素材は難燃素材ですが、防炎素材ではありません。
・突風などにより焚き火の火が延焼し、テントに引火する危険があります。
・火気を使用した場合、テントが燃えたり火傷の原因になります。

注意

誤った取扱をした時に、人が傷害を負ったり物的損害の可能性のある内容を示しています。

ポールを扱う際は、周囲に十分気をつけながら、事故や怪我など発生しないよう設置してください。

ポールは細く長いので、周囲にいる人(子供)の目に刺さったり、車などを傷つける可能性があります。

強風時や雨天時には状況をよく判断し、しっかりと固定しておくか、撤収してください。

夜間、急に天候が変わることがあります。強風で外れたペグや倒れたポールなどが原因でテント内の道具が破損したり、雨水が溜まってテントが濡れる可能性があります。※雨風による破損は保証の対象外です。

周囲を通行する人の妨げにならないようにテントを設置してください。

通行する人(特に子供)がロープに引っかかり怪我の原因となることがあります。通行する人がわかるような目印をロープにつけたり、通路の確保を行ってください。

付属のペグやロープを全て使用し、テントがたるまないように組み立ててください。

テント生地がたるんでいる状態の場合、風の力でテントが飛ばされる原因となります。ペグは根元まで地面に打ち込み、ロープは強いテンションを保つようにしてください。

ロープは指定された数をきちんと使用し、ペグは地面にしっかりと打ってください。

風でテントが飛ばされてしまったり、水が溜まってテントが転倒する危険があります。テントが吹き飛ばされた場合には人や車・他のテントに当たり大きな損害となる可能性があります。ペグは頭が地面に触れるまでしっかりと打ち込んでください。

台風や落雷の時には、キャンプ場の指示に従い安全な場所に避難してください。

悪天候が予想される状況下では、キャンプを強行することは非常に危険です。また、悪天候時のテントの下は安全な場所ではありません。強風が吹いている場合には、テントを設置しないでください。設置中に悪天候になった場合はすぐに撤収してください。また、雷雨時は、ポールに落雷する可能性もあり大変危険です。キャンプ場内の避難場所は、必ず事前に確認しておくようにしましょう。

快適にお使いになるために

○メンテナンスについて

1. 撥水加工のメンテナンス 製造時に施している撥水加工は使用するにつれて性能が低下してきます。性能が低下していると感じた際は、市販の撥水スプレーを使用していただくことで性能が回復いたします。

※撥水スプレーを振りかける前に、必ず乾燥させた状態で幕全体の汚れを落としてください。

2. 細かな部分の防水加工 WAQ AlphaTC/DX は完全防水ではございません。撥水加工をしても縫製部分やマジックテープなどの水を通しやすい部分から雨水が侵入する可能性があります。このような箇所の防水に関しては液体かジェル状の防水剤を塗布していただくことを推奨しております。塗布する際は撥水剤と同様に生地に付着した汚れやほこりを取り除きしっかりと浸透させてください。

※市販の防水材は乾燥時間の長いものがございますので説明書をよくお読みください。

3. 小さな破れ・穴の補修 小さな破れや、火の粉で溶けてしまった小さい穴などは市販のリペアシートをお使いいただき補修してください。キャンプでの応急処置としてガムテープで穴を塞ぐことをおすすめいたします。ガムテープでの補修の際は、あまり長時間貼り付けたままにしないようお気をつけください。

○薪ストーブ利用時の注意点※必ず一読お願いいたします。

- ・テントを安全に取り扱えない状態(積雪、強風、大雨等)において使用しないでください。
- ・すべての固定箇所を確実にペグ止めし、事故につながる可能性が無いか、周囲の状況をよくチェックしてご使用ください。
- ・煙突とテント本体が触れていないかよくチェックしてください。
- ・薪ストーブを使用する際は一酸化炭素検知器を必ず併用し、定期的に換気して空気の入替えを行ってください。
- ・就寝前には完全に消火し、再燃焼の可能性がないかよく確かめてください。
- ・防災布は高い耐熱性がありますが、使用するにつれて変形、変色します。
- ・防災布はハサミでカットできますので、ご使用の煙突の太さに合わせて穴を広げてください。
- ・万が一の事態に備えて市販の煙突保護カバーを取り付けてください。
- ・煙突はぐらつかないように、しっかりと固定して使用してください。
- ・キャンプ用として市販されている小型薪ストーブをお使いください。家庭用の薪ストーブは絶対使用しないでください。
- ・火の粉は十分に対策を施しても出る可能性があります。テントに落ちると穴が開きます。多少の傷みでも気になる方はご注意ください。※穴あき修理は基本的に対応できません。

輸入製造販売元

WAQ 株式会社

〒533-0033

大阪府大阪市東淀川区東中島 1-6-14

新大阪第二日大ビル 908 号室

Tel:06-6195-8288(平日 10:00-17:00 土日祝日、盆休、年末年始)

本製品のカスタマーサポートはLINEでも対応しております。

QRコードよりお友達登録をお願いします。

※サービス向上のため、お電話の内容は全て録音させていただいております。

※出来る限りWEBサイトお問い合わせフォームよりお問い合わせください。

※お問い合わせの際は、製品名、注文番号、ご購入店名、ご購入年月日、お名前をお知らせください。

【LINE】



【メール】



【FAQ】



【設置動画】



各付属品のセット内容及び各種スペック

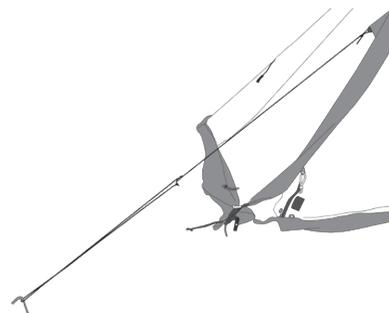
- ・フライシート
- ・インナーテント
- ・メインポール (フタマタ) ×1
- ・ビルディングベルト ×1
- ・サブポール ×2
- ・コンプレッション機能付き収納バッグ
- ・設営用ガイドロープセット
- ・ペグ (本体用) ×14
- ・ガイロープ ×6
- ・取扱説明書 (縫い付け)

製品詳細

- ・カラー：タン
- ・収納サイズ：(約)53*30*30cm
- ・重量 (付属品含む)：約9.5kg
- ・収容可能人数：1-2人
- ・フライシートサイズ (外寸)：300*300*180cm
- ・インナーテントサイズ：290*150*160cm
- ・材質 (フライ)：TC 35%コットン 65%ポリエステル
- ・材質 (インナー)：210T ポリエステル PU
- ・材質 (付属品)：
 - メインポール (フタマタ)：180cm 直径 19mm x 1 本
 - サブポール：200cm 直径 19mm x 2 本
 - ビルディングベルト：330cm

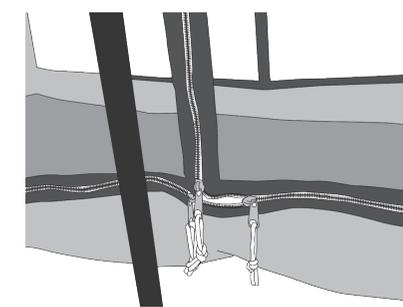
5. ガイロープ (張り綱) をセットする

最後にテント側面からガイロープをセットをすれば完成です。
※もやい結びを推奨しています。
※設営時に風がなくても必ず張り綱はセットしてください。



6. インナーを取り付ける

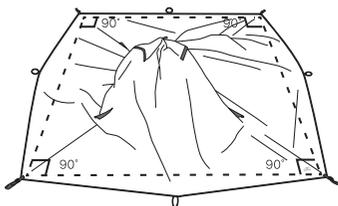
取り付けるインナーの向きを確認してください。ロゴがある方が前面になります。



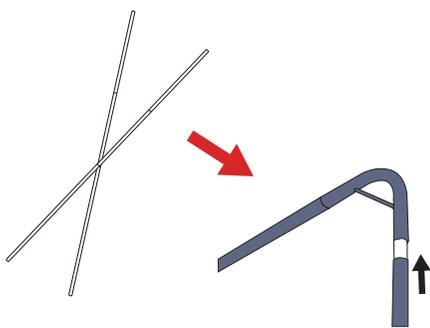
設営方法 ※撤収時は手順を逆にしてください。

1. フライを広げ、ペグを4箇所打ちます

収納袋からフライシートを取り出し、地面になるべく正方形になるように広げます。
※正面から向かって右側にロゴがある方が前室側となります。
(フライシートは引っ張りすぎず、少し余裕が出るようにペグを打つと、後の設営手順が容易になります。)

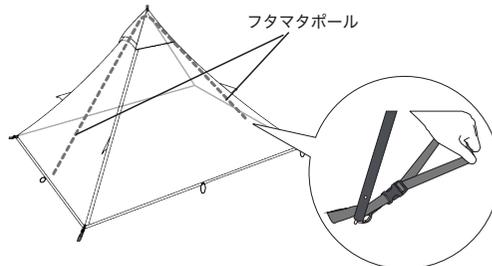


2. フタマタポールを組み立てる



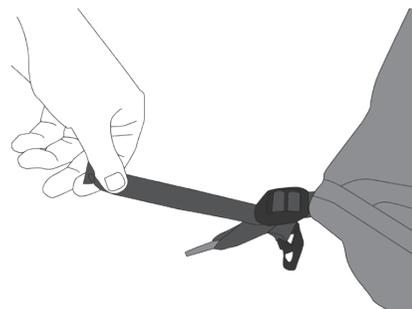
3. 幕体を立ち上げる

ファスナーを開けてテント内に入り、頂点のカップにフタマタポールをはめ込んでテントを立ち上げます。次に、フタマタポールの底部2箇所ビルディングベルトのピンを差し込み、ベルク口を引っ張りあげ、テントの高さを調節してください。(ベルク口を引っ張る事により180cmの高さに調整が可能です)



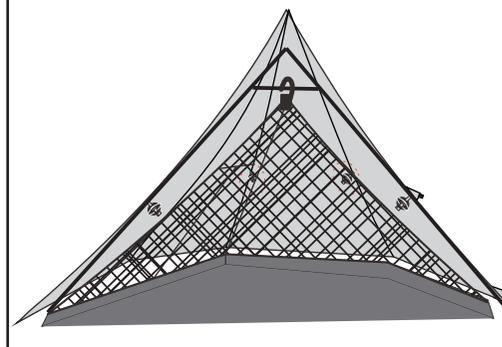
4. テントの張りを調整する

【3】でペグに引っ掛けたベルク口を調節し、テントの張りを整えてください。この時一部がたるんでいる場合はペグの位置を調整するなどして整えてください。



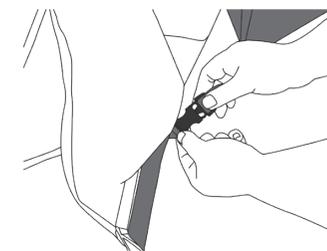
6-1. インナー取り付け

幕内のフタマタポール頂上にインナーテントのクリップを引っ掛けます。



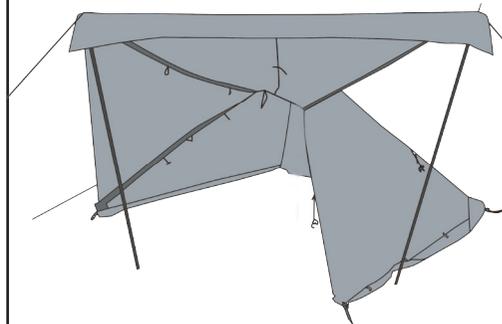
6-2. フライとインナーを接続する

インナーと四隅のバックルを接続し、ベルク口を引っ張り弛みが出ないように調整してください。(インナーテントに十分な張りが出ない場合は、テントの側面中央部にあるフライシート側のベルク口左右2箇所を引っ張るように追加でペグダウンすると張りを出すことが可能です)



Ex. フラップのアレンジ方法

付属のサブポールを使用して、フラップを全室としてお使い頂けます。アレンジ時はロープをしっかりと張り強風時にはご使用をお控えください。



Ex2. 煙突穴の利用について

※必ずお読みいただき、ご承諾いただける方のみご利用ください。
※テント内での火気の取り扱いは大変危険の伴う行為です。本商品はその安全性を保障するものではありません。
※本品に起因する事故、怪我、火傷、火災等に対する一切の責任は負いかねます。

